

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災や地震、水害などの発生時における飲料水や食品の備蓄が出来ておらず、準備検討中である。夜勤時の対応などが不安である。	・避難誘導時の非常訓練、搬送方法を職員全員で訓練を実施していく。 ・備蓄用品は購入予定である。	・今年度中に夜間を想定した防災訓練を実施する。 ・災害時の備蓄用品等は購入し整備できた。	3カ月
2	45	入居様が重度化して来ており、車椅子利用者が増加している。普通浴槽で対応しているが、職員二人での入浴介助が現状であり、安心安全な入浴を行う為の課題となっている。	・グループホーム職員の技術向上、機械浴槽利用を検討していく。 ・入居様が重度化しているため、安全に入浴を行うよう対応の確認チェック行う。	・入居様が重度化して来ているため、安心・安全に入浴していただく為、機械浴槽等を利用できるように会議検討を行った。設備上リフト等の取り付けが出来ないので、職員、業者と再度聞き取り検討行う。	3カ月
3					カ月
4					カ月
5					カ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出して下さい。(提出必須)